

## 旅客運賃の上限変更認可申請について

しなの鉄道株式会社(本社:長野県上田市、代表取締役社長:土屋 智則、以下、「当社」)は、本日3月28日付で国土交通省北陸信越運輸局に鉄道旅客運賃上限変更認可申請を行いましたのでお知らせいたします。

### 記

#### 1. 鉄道旅客運賃上限変更認可申請について

今回行いました、旅客運賃の上限変更認可申請についての詳細は別紙をご覧ください。なお、上限変更認可後実際に設定する「実施運賃」(実際にお客さまより収受する運賃)は現行水準並み(※)の運賃とします。

※普通旅客運賃は消費税端数処理を切り上げに見直し、定期旅客運賃は現行と同額を予定しています。

#### 2. 今後について

旅客運賃の上限変更認可後、「実施運賃」の届出を行います。「実施運賃」改定は2026年春を予定しています。

以上

## 1. 申請理由

当社は、1997年10月に北陸新幹線の並行在来線として東日本旅客鉄道株式会社(以下、「JR東日本」)から経営分離され、沿線市町が出資する第3セクター鉄道会社として開業いたしました。当社の鉄道事業は、1997年に開業した長野県軽井沢町から長野市を結ぶしなの鉄道線(営業キロ65.1km)と、2015年3月の北陸新幹線金沢延伸開業に伴い経営分離された長野市から新潟県妙高市を結ぶ北しなの線(営業キロ37.3km)の2路線があり、開通以来、長野県の東北信地域と首都圏および新潟県並びに北陸地域とを結ぶ幹線鉄道として、また、沿線地域住民の皆さまの生活路線として地域の発展に寄与してきました。

一方、2018年度には、年間約1,476万人のお客さまにご利用いただいておりますが、新型コロナウイルス感染症によるテレワークや時差出勤など新しい生活様式の浸透、沿線人口の減少など、コロナ禍前と2023年度を比較して約8割の利用にとどまっています。当社の利用者の約7割が通勤・通学利用であり、2020年度からご利用は回復傾向にありますが、コロナ禍前の利用水準までは回復しないことが見込まれます。そのため「コロナ禍を乗り切る経営改善策」を策定し、地域の皆様にもご理解をいただきながら、乗継割引の廃止や一部委託駅の無人化、車両更新計画の見直し、社員数の削減など痛みを伴う施策も実施してまいりました。

こうした中、2023年6月に上田駅構内で入換車両が脱線し、多くのお客さまにご迷惑をおかけしました。発生原因は木マクラギの老朽化による軌間拡大と推定されます。これまでは収益の範囲内でのみ設備投資や修繕を行っていましたが、施設の老朽化のスピードに追いついていない問題点が浮き彫りとなりました。2025年～2029年度まで「安全のための設備強化緊急対策」として当初の計画より約20億円修繕費を増額し安全のための設備投資・修繕を確実に実施してまいります。

また、2026年春には時代の流れを踏まえたサービス向上の取組みとして、お客さまの利便性向上、地域の活性化につながる交通系ICカード乗車券の導入を全線全駅に予定しています。

当社は、消費税の税率変更に伴う運賃改定を除き、2007年6月以降運賃水準を変更せず鉄道事業を継続してまいりましたが、このたび上記の理由から、安全運行の確保と持続可能な経営体制の両立のため、将来を見据えて、旅客運賃の上限変更認可申請をすることとしました。

ご利用の皆さまには、本申請についてご理解、ご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。

## 2. 申請内容

### (1) 運賃の認可制度について

鉄道事業の旅客運賃は鉄道事業法に基づき、鉄道事業者の「上限運賃」を国土交通省が認可する「上限認可制」となっています。各鉄道事業者においては、上限運賃の範囲内で届出により「実施運賃」(実際にお客さまより収受する運賃)を設定することができます。

現行、当社においてはこの「上限運賃」と「実施運賃」が同額であります。上限運賃認可後に現行水準並みの運賃を届出する予定です。届出する運賃については、改めてお知らせいたします。

(2)申請概要

ア. 申請日

2025年3月28日

イ. 「実施運賃」の改定予定日

2026年春

ウ. 「上限運賃」の改定率・増収率

(単位: %)

		上限運賃	
		改定率	増収率
定期外		25.1	25.3
定期	通勤	13.9	18.5
	通学	5.0	5.0
	小計	9.5	12.8
合計		14.7	19.3

エ. 現行・申請運賃比較

(ア) 普通旅客運賃

- ・消費税の転嫁方法について、現行の1円単位の端数を四捨五入から切上げに変更します。
- ・11kmまでの運賃は、税抜き運賃を25.1%引き上げます。また営業キロ数に賃率を乗じて算出する12km以上の運賃は、賃率を25.07円(+25.1%)に改定します。

【11kmまでの普通旅客運賃(税込み)】

(単位: 円)

営業キロ	現行	申請
1~3km	190	240
4~6km	230	290
7~9km	240	310
10~11km	260	320

【12km以上の普通旅客運賃(賃率)】

(単位: 円)

営業キロ	現行	申請
12~103km	20.05	25.07

※12km以上の運賃 賃率×営業キロ+消費税

(イ)定期旅客運賃(通勤、通学)

- ・通勤定期旅客運賃は普通旅客運賃の改定を反映します。
- ・通学定期旅客運賃は家計負担に配慮し平均 5.0%の改定を申請します。

2. 鉄道部門の収支実績および推定

(単位:百万円)

項目	2023 年度	2026~2028 年度(3 年間合計)	
	実績	現行	申請
収入	4,246	13,691	15,282
支出	4,597	15,429	15,429
差引	▲351	▲1,739	▲147
収支率	92.4%	88.7%	99.0%

※申請上の計算方式によるものであり、実際の収支とは異なります。  
※支出には配当所要額も含まれます。  
※端数処理のため、各項目の計と合計が一致しない場合があります。

3. 運賃収入内訳

(単位:百万円)

項目	2023 年度	2026~2028 年度(3 年間合計)	
	実績	現行	申請
定期外	1,316	4,287	5,371
定期	1,318	3,982	4,490
合計	2,634	8,269	9,861

※申請上の計算方式による算出のため、実際の収支とは異なります。  
※端数処理のため、各項目の計と合計が一致しない場合があります。

4. 需要予測(輸送人員)

【実績】

(単位:千人)

項目	2018 年度	2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度	
定期外	4,312	3,939	2,102	2,428	3,102	3,433	
定期	通勤	4,526	4,452	3,876	3,937	3,970	4,028
	通学	5,922	5,655	4,333	5,024	5,031	4,875
	小計	10,448	10,108	8,209	8,991	9,001	8,903
合計	14,760	14,046	10,311	11,419	12,103	12,336	
前年比	99.9%	95.2%	73.4%	110.7%	106.0%	101.9%	

【将来推計】

(単位:千人)

項目	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	
定期外	3,618	3,693	3,667	3,821	3,617	
定期	通勤	4,028	4,071	4,048	4,025	4,002
	通学	4,845	4,870	4,800	4,732	4,665
	小計	8,873	8,941	8,848	8,757	8,667
合計	12,491	12,634	12,516	12,578	12,284	
前年比	101.3%	101.1%	99.1%	100.5%	97.7%	

※端数処理のため、各項目の計と合計が一致しない場合があります。

5. 設備投資実績・計画

(1) 設備投資実績と実績

(単位:百万円)

項目	2021年度 (実績)	2022年度 (実績)	2023年度 (実績)	2024年度 (計画)	2025年度 (計画)	2026年度 (計画)	2027年度 (計画)	2028年度 (計画)
安全対策	326	566	624	526	646	1,412	1,551	2,466
サービス改善・その他	1,338	1,434	1,616	998	2,791	1,038	591	119
合計	1,665	2,000	2,240	1,524	3,437	2,450	2,143	2,586

※端数処理のため、各項目の計と合計が一致しない場合があります。

(2) 設備投資内容

ア. 安全対策

(2024~2028年度 投資額 約 6,602 百万円)

- ・マクラギ交換(木マクラギ→PC マクラギ)
- ・レール交換
- ・駅ホーム床板更新
- ・小諸高架橋耐震補強工事
- ・変電設備機器更新



(レールマクラギ イメージ)

イ. サービス改善

(2024~2028年度 投資額 約 5,538 百万円)

- ・新型車両 SR1系への更新
- ・交通系 IC カード乗車券の導入
- ・列車運行情報提供システムの導入



(新型車両 SR1系イメージ)

## 6. これまでの経営合理化の状況および今後の取組み

当社では「コロナ禍を乗り切る経営改善策」として、車両更新や設備投資計画の見直し、組織のスリム化と人件費の抑制、設備維持の低コスト化など経費削減策による収支改善に努めてまいりました。今後も業務の効率化や、各種のイベント企画等による収益確保を進め、持続可能な経営体制を構築してまいります。

## 7. 運賃、料金の多様化の内容

当社では 2026 年春の交通系 IC カード乗車券導入にあわせて1円単位の IC 運賃(実施運賃)を導入する予定です。

### (1) IC 運賃(1円単位)の導入

10円単位のきっぷ運賃のほか、交通系 IC カード導入時には IC カードを利用した場合に1円単位となる運賃とし、「きっぷ $\geq$ IC」となる運賃体系とします。

## 8. お客さまサービスの向上策

### (1) 鉄道設備等の更新による安全・安定輸送の確保

2025年～2029年度まで「安全のための設備強化緊急対策」として、集中的に設備等の更新を行ってまいります。安全に係る設備投資の前倒し実施による安全運行の確保と、地域の重要なインフラとしての体制構築に努めてまいります。

### (2) 交通系 IC カード乗車券導入による利便性の向上

2026年春に当社の全線全駅に交通系 IC カード乗車券を導入することで、JR 東日本信越本線(篠ノ井駅から長野駅間)への直通列車をご利用されるお客さまにシームレスな移動を実現します。

### (3) 運行情報等の発信体制強化

当社ホームページおよび公式 SNS を通じて、お客さまに運行情報等を発信していますが、駅における情報発信および多言語化の発信体制を強化することで、ご利用されるお客さまへの適切な情報提供に努めてまいります。

### (4) ご利用状況を踏まえたダイヤ編成

繁忙期における臨時列車の運行計画等、より便利な輸送サービスに努めてまいります。

## 9. 本件に関するお問合せ先

経営戦略部 営業課 TEL0268-21-4702

受付時間(平日 9:00～17:00)

ホームページ <https://www.shinanorailway.co.jp/>